

ひょうご 認知症希望大使 ふるや かずゆき 古屋 一之さん



(認知症と診断された方に伝えたいこと)

「絶対に負けないでほしい。強くなることが大切。自分はまだ強くない。強くなりたいと思っている」

日々の暮らし

さまざまに活動。そして大使としても。

餃子をつくる



中華料理店をやっていました。まわりからも、「餃子のタネをこねる姿は、さすがプロ。とてもカッコいい」と。

趣味の陶芸作品



陶芸は最近していないけれど、またしたいと思う。集めるのが好き。

ソフトボール大会で(富士宮市で開催)



←ヒットを
打ちました！

→
そして、優勝！
富士山をバック
に優勝旗ととも
に♪



体育大学卒業。体育教師の経験を持ち、たくさんの競技会に参加してきました。当日は選手宣誓も！
(これは初めての経験^^)

【大使になりませんか?と声をかけられた時】
「自分にできるかな・・・」と思った。

【大使活動を実際にしてみると】
「思いのほか幸せな時間でした」「人に話している時、自分の思いを伝えている時、生きてるな～生かされてるな～って思う」

【認知症と診断されて以降】
「人が去っていくことが一番つらかったし、悔しかった」「でも今はたくさんの人が支えてくれる。どれだけ助かったかわかりません。それが嬉しかった」

【暮らしの中で大事なこと】(2022年10月、「希望を叶える活動に向けたカンファレンス」*)

- ①通う場(居場所)があること
- ②コミュニケーションをとること
- ③爪痕を残したい

* 古屋さんと家族、日頃の仲間、介護関係者が知り合う場、話し合う場をもつために集いました。



コミュニティFM局に出演
(2018年12月)



三田市福祉功労者表彰式
(2020年1月)「喜びました」



2020年春からは、いろいろな集まりがオンラインに。播磨オレンジパートナーのオンライン講座に講師として参加(北村さん自宅にて)

いつもアシストしてくれる北村さんとともに、2018年から、講演などの活動してきました